

あわつと感染症情報 (2025-17)

・千葉県安房保健所発
2025 年 5 月 2 日配信

☆今週のトピックス☆

結核

千葉県内で結核の集団発生がありました！

令和 6 年 7 月に結核患者の届出があり、所管している習志野保健所が調査を実施したところ、3 名の発病者(初発患者を除く)と 2 名の感染者が確認され、集団感染が起きたことが判明しました。なお、治療が必要な者は、全員適切な治療を受けています。

結核の初期症状は、風邪の症状とよく似ています。2 週間以上の咳が続くときは、診察や検査を受けるなど、早期発見に努めてください。

<結核の早期発見>

定期健診、 早めの受診



自分自身の健康を守ることはもちろんのこと、家族や友人などへの感染を防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。

定期的に健診をきちんと受け、2 週間以上せきや痰、発熱などの症状が続くようなら、必ず診療を受けてください。

<結核の治療>

毎日の内服 が大切



もしも、発病したとしても、「排菌」(咳(せき)や痰(たん)と共に結核菌が空気中に吐き出されること)していない場合は、他の人に感染させる心配はありませんので入院しなくても通院で治療ができます。

治療の基本は服薬です。ところが咳が治まったからといって治療の途中で薬をやめてしまうと、薬の効かない耐性菌になることがあります。必ず、医師の指示を守って服薬を続けてください。



安房管内でも結核の発生届が続いています。

職員や利用者などの健康観察を徹底し、早期発見に努めましょう。

！ 結核は、2 類感染症です。

診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。

<参考> ・結核とは(公益財団法人結核予防会) https://www.jatahq.org/about_tb/inspection

・結核の集団発生について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/syuudan20250425.html>

☆安房管内の感染症発生状況☆

流行性角結膜炎

安房

県内

アデノウイルス 8 型、19 型、37 型によっておこるウイルス性結膜炎です。ある日、急に白目が真っ赤になり大量の「めやに」がでます。まぶたがはれ、耳の前にあるリンパ節がはれて触ると痛みがあります。子どもや症状が強い人の場合は、まぶたの裏に偽膜という白い膜ができ、眼球の結膜に癒着をおこすことがあります。また炎症が強いと黒目の表面がすりむける角膜びらんを伴い、とても痛くなることがあります。発病から 1～2 週間して、黒目に小さい濁り(角膜混濁)がでてくる場合があります。濁りがでると、まぶしさやかすみを感じたりします。

★安房管内における2025年第17週(令和7年4月21日～令和7年4月27日)の定点医療機関当たりの報告数は2.00人と前週0.00人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は1.03人と前週1.49人と比べ、減少)

<参考>ウイルス性結膜炎(日本眼科学会) <https://www.nichigan.or.jp/public/disease/name.html?pdid=14>
流行性結膜炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-30.html>

新型コロナウイルス感染症

安房

県内

★安房管内における2025年第17週(令和7年4月21日～令和7年4月27日)の定点医療機関あたりの報告数は0.50人と前週0.67人と比べ減少しました。

(県全体の報告数は1.50人と前週1.92人と比べ、減少)

<参考>

・新型コロナウイルス感染症について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>
・新型コロナウイルス感染症への対応(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-category5.html>

✿ 安 房 管 内 の 全 数 届 出 疾 患 ✿

全数届出疾患:全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、掲載の届出様式により最寄りの保健所に届け出る必要があります。

<2 類感染症> ★結核 4 件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

特に、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

<参考>結核について(千葉県) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/

<5 類感染症>

★百日咳 3 件

百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作(痙攣発作 けいがいほっさ)を特徴とする急性の気道感染症です。

百日咳は世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっています。母親からの免疫が十分でなく、乳児期早期から罹患する可能性があり、乳児(特に新生児や乳児期早期)では重症になり、肺炎、脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。

<参考>・百日咳(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/whooping_cough.html

- ☐ 連 絡 登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。
- ☐ 利用にあたっての注意 あわつと感染症情報の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、ご利用に際しては、利用機関の責任においてご使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティ等の注意をお願い致します。

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp